

1 イオマンテ めぐるいのちの贈り物



- ① 寮美千子/文  
小林敏也/画
- ② ロクリン社
- ③ 2000円
- ④ E

アイヌ民族の熊送りの儀式「イオマンテ」。熊はカムイ（神の使い）であるから、アイヌの男の子たちに肉や毛皮をあげるためにカムイの国からやってきて、カムイの国へと帰っていく。いのちと魂の大きなめぐりの中に生かされてることに感謝できる絵本です。

2 おしごとおしごとなににする？



- ① なとりちづ/作
- ② 福音館書店
- ③ 1500円
- ④ E

こぐま園の園長、はな組の6人の子どもたちが、ゆめ子先生とお散歩に出かけました。焼きたてパンの匂いがしてきたり、しょうぼうしょがあったりします。大きくなったら何になるか初めて出会う、お仕事絵本です。さて、つくしくんのなりたいものは何でしょう。

3 おめでとうのさくらまんじゅう



- ① 西本鶏介/作  
野須あき/絵
- ② 絵本塾出版
- ③ 1400円
- ④ E

小学校の校庭のすみにある1本のさくらの木は、和菓子屋のしょうきちじいさんが、60年前に植えたものです。しょうきちじいさんは、さくらの花びらを使って、新1年生のために、さくらまんじゅうを作ります……。そのまんじゅうに込められた思いとは？

4 漢字はうたう



- ① 杉本深由起/詩  
吉田尚令/絵
- ② あかね書房
- ③ 1300円
- ④ E

「春って ともだちがすき なぜって 三人の日とかく」 漢字の形からイメージして紡いだ18編の詩を、季節をめぐりながら、素材でめくもりのある絵とともに楽しめる漢字絵本です。あなたは、どの漢字が好きですか？どの季節が好きですか？漢字のうたが聞こえてくることでしょう。

5 さやかちゃん



- ① くすのきしげのり/作  
こばようこ/絵
- ② ポプラ社
- ③ 1300円
- ④ E

ひとがひとをすきになるってこと。むねのおくが、あったかくて、せつなくて、そしてしあわせなきぶん。お日さまのようなまぶしい笑顔の転校生さやかちゃん。声をかけられた小2のしゅうとはドキン！ある時一緒に宿題をすることになり……。しゅうとくんの初恋がやさしいまなざしで描かれています。

6 すずちゃんののうみそ



- ① 竹山美奈子/文  
三木葉苗/絵
- ② 岩崎書店
- ③ 1600円
- ④ E

自閉症スペクトラムのすずちゃんがみんなと少し違うのは、頭の中の「のうみそ」がちよっとだけ違う指令を出すときがあるせいということや、どう接したらよいかということ、そして「自然に受け入れてくれてありがとう」ということを、すずちゃんのママから保育園のお友達宛ての手紙の形でつづっています。

7 せんそうをはしりぬけた『かば』でんしゃ



- ① 間瀬なおかた/作・絵
- ② ひさかたチャイルド
- ③ 1400円
- ④ E

通称『かば』でんしゃと呼ばれた電気機関車EF551の視点での戦争が描かれています。

電車に憧れていたほくろのある少年が青年になり戦地へ出征する時も、電車自身が空襲で銃撃される時も悲しい気持ちで静かに見守り続けます。戦争の悲惨さが伝わってきますが、最後にほっとする場面があり救われます。

8 たったひとつのドングリが すべていのちをつなぐ



- ① ローラ・H. シェーファー/文  
アダム・シェーファー/文  
フラン・プレストン・ガン/絵
- ② 評論社
- ③ 1400円
- ④ E

たったひとつのどんぐりから木が育ち、その木に鳥が巣をつくり、そこから落ちた種から花が咲き……と、生命が集まり豊かな森が育っていく様子が描かれています。小さな森の出来事から生態系や食物連鎖について考えることができる一冊です。

9 ひょうたんめん



- ① 神沢利子/文  
赤羽末吉/絵
- ② 復刊ドットコム
- ③ 1850円
- ④ E

ある日、塩を買いにでかけた村人「おとじろうまごじろう」は、帰りの山道で運悪く「ひょうたんめん」に見付き、塩も馬も食べられて、命からがら逃げ出しますが……。種子島のおばけ「ひょうたんめん」にまつわる昔話絵本です。

10 レインボーフラッグ誕生物語



- ① ロブ・サンダース/作  
スティーブン・サレル/絵
- ② 汐文社
- ③ 1600円
- ④ E

セクシュアルマイノリティの希望と誇りのシンボルであるレインボーフラッグの由来や歴史と、その生みの親であるハーヴェイ・ミルクとギルバート・ベイカーの姿を描いています。性的だけでなく様々な少数派の人々を理解するための一歩となる伝記です。

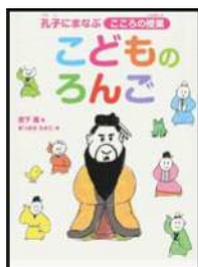
11 わたしの島をさがして



- ① ジュノ・デイアス/作  
レオ・イスピノサ/絵  
都甲幸治/訳
- ② 汐文社
- ③ 1800円
- ④ E

主人公のロラは、宿題で「生まれた国の絵を描く」ことに。赤ちゃんの頃に移住してきたロラは何も覚えていません。家族や周りの大人たちに生まれた島について聞いているロラを通して、アメリカの移民社会について知ることができます。

12 こどものろんご  
孔子にまなぶこころの授業



- ① 宮下真/著  
まつおかたかこ/絵
- ② 永岡書店
- ③ 1300円
- ④ 12ミ017

『論語』と聞くと難しく思いがちですが、この本では、たくさんの言葉の中から、友情や努力など身近なテーマを取り上げて、分かりやすく解説してあり、子どもたちに伝えたいメッセージが詰まっています。ときには親子で音読するのもよいかもしれません。

13 地球の森のハートさがし



- ① 藤原幸一/しゃしん・ぶん
- ② ポプラ社
- ③ 1500円
- ④ 46フ017

豊かな森の中に隠れているハートを色鮮やかな写真で紹介しています。葉っぱや花の形、動物の体などの意外なところにハートの形を発見することができます。ふだんは見ることのできない森の奥の様子から、生態系を学び、自然の大切さも感じることができます。

14 ぼうけんはバスにのって



- ① いうみく/作  
山田花菜/絵
- ② 金の星社
- ③ 1200円
- ④ 91イ018

小学2年生のタクは、バスに乗って山梨のおばあちゃんの家に行くことに。初めての一人旅に、ドキドキとワクワクする気持ちが伝わってきます。途中のハプニングを乗り越えて無事に着けるのか……。主人公の夏休みの大冒険に共感しながら読み進められます。

15 ホカリさんのゆうびんはいたつ



- ① はせがわさとみ/作  
かわかみたかこ/絵
- ② 文溪堂
- ③ 1300円
- ④ 91ハ017

ホカリさんは小さなまちの郵便屋さんです。タヌキなどの動物たちやかぜのこに頼まれる手紙をどのように届けるのでしょうか。動物たちと考える手紙に思わず笑顔がこぼれます。ホカリさんに手紙を頼みたくなるかもしれません。心がほっこりとあたたかくなる3つのお話です。